

2024 年度 日本小児耳鼻咽喉科学会 理事会議事録

日時:2024 年 7 月 10 日(水) 16 時 00 分~17 時 55 分

場所:シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢(伊勢市観光文化会館) 4 階「大会議室 2, 3, 4」

出席者:伊藤真人(理事長)、安達のどか、小野 滋、片岡祐子、肥沼悟郎、近藤康人、阪本浩一、鈴木雅明、田中康広、中川尚志、林 達哉、原 浩貴、深美 悟、保富宗城、増田佐和子、益田 慎、丸山裕美子、吉原重美(理事)、小林一女、望月博之(監事)、飯野ゆき子、市村恵一(顧問)、有本友季子、香山智佳子、鈴木法臣、橋本亜矢子(幹事)、穉吉亮平(学術(国内)委員会委員長)、檜尾明憲(学術(国際)委員会委員長)、小森 学(専門医制度 WG 委員長)、任 智美(ダイバーシティ推進委員会委員長)、竹内万彦(第 19 回学会総会・学術講演会会長)、小林正佳(第 19 回学会総会・学術講演会年次幹事)、福田裕次郎(第 20 回学会総会・学術講演会年次幹事)、齋藤康一郎、仲野敦子、守本倫子、吉川 衛(アドバイザー)、早坂駿吾(事務局)

伊藤真人理事長挨拶

本理事会は出席者と委任状で定足数を満たしていることが報告された。議事録署名人には肥沼悟郎理事と深美 悟理事が指名された。本理事会開催にあたっての挨拶を述べられた。

竹内万彦会長挨拶

第 19 回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を開催するにあたっての協力・支援に対する謝意が述べられた。

I. 報告事項

1. 庶務報告(丸山理事)

1-1. 2023 年度事業報告

1. 第 18 回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を 2023 年 11 月 9 日~10 日の 2 日間、大分県別府市において国立成育医療研究センター耳鼻咽喉科 守本倫子会長のもとで開催した。
2. 第 9 回アジア小児耳鼻咽喉科学会(9th Asia Pediatric Otolaryngology: APOG2023)を 2023 年 11 月 9 日~10 日の 2 日間、大分県別府市において九州大学耳鼻咽喉・頭頸部外科 中川尚志会長のもとで開催した。
3. 第 19 回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を 2024 年に三重大学耳鼻咽喉・頭頸部外科 竹内万彦会長のもと三重県伊勢市で開催に向け準備をした。
4. 日本小児耳鼻咽喉科学会誌 第 44 巻 1 号、2 号、3 号を刊行した。
5. 理事会を 2023 年 7 月 4 日に Zoom で、11 月 9 日に現地で、それぞれ開催した。

6. 評議員会を2023年7月31日～8月4日にオンラインで、11月10日に現地で、それぞれ開催した。
7. その他学会活動を行った。

日本小児耳鼻咽喉科学会 会員数:2024年3月31日現在

| | | |
|-------|--------|--------------|
| 正会員 | 1,233名 | |
| 名誉会員 | 3名 | |
| 購読会員 | 12名 | |
| 寄贈会員 | 3名 | |
| <hr/> | | |
| 合計 | 1,251名 | (前年度 1,227名) |

(2023年度入会者154名〔正会員90名＋臨時会員64名〕)

1-2. 2021年度会費～2024年度会費未納者の自然退会について

2021年度会費～2024年度会費未納者について、会則第9条第2項に基づき、自然退会とすることが報告された。

2. 会計(増田理事)

特に報告事項なし。

3. 学術誌編集(安達理事)

2023年度は学会誌44巻1号、2号、3号をそれぞれ発行したこと、編集委員会を2023年11月21日に開催したこと、2024年の45巻より完全オンラインジャーナル化したことがそれぞれ報告された。

4. ホームページ広報(益田理事)

特に報告事項なし。

5. 会員教育(林理事)

2025年開催予定の第20回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会における企画を、本学会会員に対してGoogleフォームを通じて募集すること、その募集をメールマガジンで告知することにつき審議を行うことになり、承認された。

6. 保険医療(鈴木理事)

小児用気管ステントの国内導入についての要望を日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会へ提出したこと、耳科手術用チタン製耳小骨の国内導入の要望を関連学会との連名で厚生労働省へ提出したこと、令和8(2026)年度診療報酬改定要望項目として日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会保険医療委員会に、1)扁桃手術に使用するパワーデバイス(コブレータ、マイクロデブリッタなど)の保険診療点数の新設、2)干渉電流型低周波刺激装置による嚥下リハビリテーション料の保険診療点数の新設、3)小児睡

眠時無呼吸症に対する持続気道陽圧呼吸療法(CPAP)の保険適用条件[C107-2(3)ウ]の変更、をそれぞれ要請したことが報告された。

7. 会則(深美理事)

特に報告事項なし。

8. 学術(国際)(中川理事)

2023年11月9日～10日に第9回アジア小児耳鼻咽喉科学会(9th Asia Pediatric Otolaryngology: APOG2023)を開催したことを報告し、謝意を表された。

9. 学術(国内)(田中〔康〕理事)

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会より依頼のあった第126回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会総会・学術講演会と第39回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会秋季大会専門医講習会の企画への協力をお願いに対して、プログラム案を提案したことが報告された。

10. ダイバーシティ推進(片岡理事)

第19回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会会期中の2024年7月12日に開催される、ダイバーシティ推進委員会企画セミナー「働き方改革, みんなの疑問にお答えします」への参加を呼びかけられた。

11. 企画推進(小児睡眠時無呼吸症領域)(原理事)

日本口腔・咽頭科学会「パワーデバイスを用いた扁桃切除、アデノイド切除開発に関するワーキンググループ」へ参加していること、小児睡眠時無呼吸症ガイドラインを作成するための委員のメンバーを構成したことが、それぞれ報告された。

12. 企画推進(小児感染症領域)(保富理事)

2023年の第18回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会において「第1回小児科・耳鼻咽喉科合同感染症セミナー」(テーマ:小児深頸部膿瘍)を開催したこと、第19回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会会期中の2024年7月11日に「第2回小児科・耳鼻咽喉科合同感染症セミナー」(テーマ:小児鼻副鼻腔炎)を開催する予定であることが、それぞれ報告された。

13. 企画推進(小児アレルギー領域)(増田理事)

委員のメンバー構成、オンラインによる会議を実施したこと、現在、日本小児アレルギー学会で作成中のアレルギー性鼻炎に関する保護者アンケートに協力していくこと、その他の関連する課題について検討していくことについて、それぞれ報告された。

14. 専門医制度WG(田中〔康〕理事)

第125回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会総会・学術講演会会期中に小児難聴相談医制度WG会議が開催され、WG構成員で作成を進めているテキストの校正作業を進めていることが報告された。

15. ペガサス基金選考(阪本理事)

「ペガサス基金による若手医師助成」の応募を開始し、情報を第 19 回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会開催後にホームページにて公開すること、本理事会内でペガサス基金を用いて国際学会参加費用の助成を行うことについて審議を行うことが、それぞれ報告された。

16. その他

16-1. 副理事長について(伊藤理事長)

2023 年 11 月 9 日開催の評議員会で、理事長が耳鼻咽喉科の理事 1 名と小児科の理事 1 名を副理事長に任命する副理事長制度を導入することが承認されたため、耳鼻咽喉科からは益田 慎理事を、小児科からは吉原重美理事を任命したことが報告された。

16-2. メール審議報告・情報配信報告(伊藤理事長)

前回理事会(2023 年 11 月 8 日開催)以降のメール審議の内容および情報配信の内容が報告された。

16-3. 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会・関連する学会会議出席報告(伊藤理事長)

第 125 回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会総会・学術講演会会期中に開催された「第 62 回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会・関連する学会会議」に出席したことが報告された。

16-4. 第 18 回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会会計報告(守本第 18 回総会・学術講演会会長)

第 18 回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会(2023 年 11 月 9 日～10 日開催)の決算が報告された。

16-5. 第 20 回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会準備状況報告(原第 20 回総会・学術講演会会長)

第 20 回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会における、現在の準備状況が報告された。

16-6. 第 21 回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会準備状況報告(田中[康]第 21 回総会・学術講演会会長)

第 21 回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会における、現在の準備状況が報告された。その中で、2026 年 7 月 2 日(木)～3 日(金)に大宮ソニックシティ(埼玉県さいたま市)で開催すること、会員懇親会を鉄道博物館(埼玉県さいたま市)で開催することが、それぞれ報告された。

II. 審議事項

1. 2023 年度決算報告(増田理事)

2023 年度日本小児耳鼻咽喉科学会決算(2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)および資産が報告された。本件、審議され、承認された。

2. 会計監査報告(小林監事)

2023 年度日本小児耳鼻咽喉科学会決算を監査した結果、適正であることが報告され、承認された。

3. 2024 年度事業計画(案)(丸山理事)

1. 第 19 回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を 2024 年 7 月 11 日～12 日の 2 日間、三重県伊勢市において三重大学耳鼻咽喉・頭頸部外科 竹内万彦会長のもとに開催する。
 2. 第 20 回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を 2025 年に川崎医科大学耳鼻咽喉・頭頸部外科学 原浩貴会長のもと開催に向け準備する。
 3. 日本小児耳鼻咽喉科学会誌 第 45 巻 1 号、2 号、Supplement を刊行する。
 4. その他学会活動を行う。
- 以上、審議され、承認された。

4. 新評議員・次期年次幹事の推薦の件(丸山理事)

岡野高之先生(藤田医科大学ばんだね病院 耳鼻咽喉科)、杉山庸一郎先生(佐賀大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科)、中山次久先生(獨協医科大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科)、室野重之先生(福島県立医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科)、茂木雅臣先生(群馬大学 耳鼻咽喉科)が評議員として推薦され、評議員会で審議されることになった。

また、福田裕次郎先生(川崎医科大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科学)が年次幹事に推薦され、承認された。

5. 2024 年度予算(案)(増田理事)

2024 年度日本小児耳鼻咽喉科学会予算(2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)について審議され、承認された。

6. 学会ホームページ改訂の件(益田理事)

企業からのバナー広告掲載などに伴う学会ホームページのフロントページのレイアウト変更、小児耳鼻咽喉科学に興味をお持ちの先生方向けのページの新設、一般の方向けのページの全面改訂を実施した場合の追加費用が 30 万円、学会ホームページ全体を改訂する場合は合計で 100 万円程度の費用が発生することが報告された。本件、現在、学会ホームページを管理しているジャックビーンズや他のホームページ制作会社より見積もりを取り寄せ、2～3 か月後をめぐり理事会メールにて再度審議が行われることになった。

7. 学会推奨商品の認定の件(益田理事)

本学会ホームページへのバナー広告掲載を検討している企業から、各種の医薬外製品に対して学会推奨マーク制度付与の要望があったことが報告された。本件、制度を設ければ企業から審査料や認定料の名目で寄付金を募ることができ、本学会の収入増加につながるが、認定にあたって学会がどのような法的責任を負うのかなど、制度設計にあたって慎重に検討をすべきという意見を複数の本理事会出席の先生方よりいただいたことから、導入可否も含め、継続審議となった。

なお、中川理事より、本学会の収入増加につなげる手段として、年会費の値上げの提案をいただき、検討を進めることとなった。

8. ペガサス基金を活用した小児耳鼻咽喉科会員国際学会参加助成制度(案)の件(中川理事)

日本小児耳鼻咽喉科学会の国際化を図る一環として、日本小児耳鼻咽喉科学会会員の国際学会参加を推進する目的で、日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会発表の演題より優秀演題を選出し、ESPO(欧州小児耳鼻咽喉科学会)への発表を依頼し、海外渡航費補助10万円をペガサス基金から支出することの提案がなされ審議された。本件、齋藤アドバイザーからの意見を受け、まずは学会誌「小児耳鼻咽喉科」投稿論文の中からESPOへの発表を依頼する演題(論文)を選出、という流れで進めることとなった。

9. 留学による休会制度(会則細則)改定の件(深美理事)

現在の会則細則第1条5.では、「正会員が2年以上国外に留学する場合には、この間の会費を免除し、4年を限度として休会措置を受けることができる」と規定されているが、この度、会員より4年以上留学することになった旨の連絡をいただいたことから、「4年を限度として」の部分削除することが提案された。本件、審議され、承認された。

10. 「先天性気道狭窄診療の手引き」の件(田中[康]理事)

厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患政策研究事業「呼吸器系先天異常疾患の診療体制構築とデータベースおよび診療ガイドラインに基づいた医療水準向上に関する研究班」の研究費を用いて作成が進められている「先天性気道狭窄診療の手引き」(作成委員長:守本倫子先生[国立成育医療研究センター 耳鼻咽喉科])につき、本学会学術(国内)委員会にて校正を行い、この度、出来上がったことが報告された。本件、手引きは全44ページあるため、後日、理事会メールにて意見を募ることとなった。

11. 第22回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会会長推薦の件(伊藤理事長)

第22回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会会長に藤田医科大学ばんだね病院小児科の近藤康人教授が推薦され、承認された。

以上

理事長:伊藤真人

副理事長:益田 慎
吉原重美

庶務担当:丸山裕美子

庶務アドバイザー:仲野敦子
守本倫子

幹事:有本友季子
鈴木法臣

橋本亜矢子

(文責)香山智佳子